

お母さんのやせは 次世代の生活習慣病の リスクを高めます ~part2

LIVE配信
視聴無料

日本では2500g未満で生まれる赤ちゃんはおよそ10人に1人。赤ちゃんが小さく産まれることで遺伝子の働きを調節するメカニズムが変化して、将来、骨粗鬆症のような生活習慣病になりやすい体質がつくられることがわかってきました。最新の調査では、40代50代男女で大腿骨近位部骨折が増加しています。

昨年の内容に引き続き本年は具体的に取り組むべき栄養と対策も交えてお伝えします。

日時

令和6年 3月14日(木) 15:00~15:50+質問タイム

内容

(予定)

基調講演(10分)

新・健康づくり指針~健康日本21(第三次)を読み解く
~特に骨粗鬆症検診について考える~

厚生労働省 健康・生活衛生局 健康課
小田 琢也 氏

- * 健康日本21第三次計画に初登場した「女性」分野
妊娠・出産・閉経などのイベントに起きる女性特有の健康課題
女性ホルモン減少はなぜ骨粗鬆症リスクを増加させるか
- * 骨粗鬆症検診の考え方
骨粗鬆症検診率と要介護率との相関 など

講演(40分)

“小さく産んで大きく育てる”ことの危険性を知り生活習慣病発症
リスクの少ない社会へ! 取るべき栄養と対策

- * 小さく産まれると発症リスクの高くなる疾患
糖代謝異常・II型糖尿病/認知機能
心臓循環器系疾患・腎臓疾患/骨粗鬆症 など
- * 出生体重低下の原因
妊娠前のやせ、妊娠中の栄養摂取不足
- * 胎生期からの骨粗鬆症予防
- * 妊娠期~産後にかけて取るべき栄養

講師

福岡 秀興氏

福島県立医科大学
病態制御薬理学講座 特任教授



視聴

無料/事前申し込み不要

時間になりましたら

Zoomウェビナーにアクセスしてください。

お問合せ

公益財団法人骨粗鬆症財団

東京都中央区日本橋大伝馬町2番14号 info@jpof.or.jp

https://www.jpof.or.jp/

後援: 厚生労働省 健康日本21推進全国連絡協議会

協賛: 旭化成ファーマ株式会社

内容は予告なく一部変更することもございます



ウェビナーID:
886 0404 8458
パスコード:
481665